

令和六年度 施設長研修会

施設長研修会が、一二月二十日（金）静岡市駿河区のグランシップ会議ホール・風にて行われました。子ども・保護者の多様化だけでなく保育者も多様化の時代に、子どもの最善の利益を保証し、かつ安定した施設運営・管理を行うため、施設長としての役割を再認識し資質向上を図る事を目的として研修が開催され、静岡県内より多くの施設長の皆様が参加されました。研修では、三つのテーマと会長講話を含む四つの内容にて行われました。

講義① 『少子化社会における保育の動向』

～子ども誰でも通園制度を中心に～

講師 武庫川女子大学

教授 倉石哲也氏

子ども誰でも通園制度のことも大綱における説明から始まり、子ども家庭庁の動向や未就学児の実態、制度の理念や意義と課題等を聞くことが出来、その上で実践している施設の状況などのお話を聞かせて頂きました。



講義② 『保育人材養成会議告』

～働きやすい職場とは～

講師 たかつか光こども園

副園長 中村友哉氏

全国保育協議会の保育人材養成会議での議論や研究をした経験、自園での取り組みなどを踏まえてご講義して頂きました。人材不足はこの園でも起こりうる、または起きている課題であり、採用だけでなく保育者がいかに続けていける様に工夫が必要である事がわかる内容でした。そして、その実行をいかに早く行えるかなど考えさせられる講義となりました。

講義③ 『職員の多様性を活かし、

チームで実現する保育の質』

～施設長のリーダーシップと

組織マネジメント～

講師 洗足こども短期大学

教授 井上眞理子氏

組織マネジメントの中で行う業務改善のポイントや考え方、方向性を示す事の重要性をお話し頂き、幼保連携型認定こども園保育要領や保育所保育指針を踏まえたこれからの在り方をご講義頂きました。その中で、これからのリーダーシップの定義や必要な考え方を教えて頂き、そしてその先にある「人材」

と「組織」の資質向上こそ保育の質を高めていくと、学ぶ事が出来ました。

講義④ 『保育情勢報告』

講師 静岡県保育連合会

会長 土山雅之氏



現在の保育における情勢報告をお話し頂きました。近年の出生数の低下、それに伴い幼稚園・保育所等の利用児童数の変化、五歳未満の人口の将来推計などの資料をもとに今後の変化をお話しされました。次に保幼小の接続について説明と見解を述べられ、令和六年度補正予算の内容に触れられながら今後のこども園や保育所の運営にかかわる内容をご講義頂きました。